

### 世界の8割が使える新型コロナ予防アプリを 研究開発しました。



取締役 (CEO) 瀧澤 清美

取締役 (COO) 戸澤 健

取締役 (CTO) 宇田川 利明

## 株式会社TMR

前橋市



- ▶ 代表者: 瀧澤 清美
- ▶ 設立年月日: 2018年6月28日
- ▶ 資本金: 60万円
- ▶ 従業員数: 1人
- ▶ 住所: 前橋市新前橋町25-19 上原ビル2階
- ▶ TEL: 027-251-5515
- ▶ Mail: tmr.takizawa@gmail.com
- ▶ URL: https://tmr.gunma.jp/

当社HPへは  
こちらから→



### 企業紹介

国際医療関連の支援ツールおよび、モバイルアプリの制作・開発とそれに付随する業務全般、医療・介護・健康等の専門Webアプリサービスの提供・運営・管理を行います。



### 経緯・背景

代表瀧澤清美は、50歳の時に群馬大学大学院医学系研究科に入学し、学位取得後、同大学病院の研究員として遠隔医療・国際医療支援システムの研究開発を行ってきました。大学を退官後、関東経済産業局より新連携計画『異分野連携事業開拓計画』の認定を受け、研究で得た知見をもとに、3人のT (Takizawa Kiyomi, Tozawa Takeshi, Udagawa Toshiaki) が医療 (Medical) に革命 (Revolution) をとの思いを込めTMRを設立しました。

### 具体的な取組

#### 発熱パスポート(組織版)

群馬県のニューノーマル創出支援事業費補助金交付を受け、発熱パスポート(組織版)の開発を行いました。



組織の従業員の健康状態を可視化して、  
クラスターの早期発見システム

#### 包括的BPSDケアシステム®(認知症)

群馬大学医学部保健学科と下田工業(株)と(株)TMRの三者で包括的BPSDケアシステムの共同研究開発を行いました。



ICTサービスを使用した認知症ケア加算システム  
(監修/群馬大学大学院保健学研究科教授:内田陽子)

### 成果・効果

#### ■発熱パスポート(組織版)

- ・成果  
導入事例: 東京の社会福祉法人  
高崎市の法人
- ・効果  
従業員の健康に関する意識が向上し、少しでも体調がよくない場合はなるべく人に会わないようにする等、体調に合わせた行動変容ができるようになり、感染拡大予防の意識が高まり行動しています。

#### ■包括的BPSDケアシステム

- ・成果  
2020年4月~2021年3月までに群馬大学との共同研究で内田陽子教授が開発してきた包括的BPSDケアシステムの電子版(クラウド環境で使用できるシステム)として、4月からのリリースを予定しています。
- ・効果  
すでに、多くの医療機関からの問い合わせがあり、現場での検証を行っていただいています。

### 当社にとってのSDGsと、その展望

当社にとって開発目標のSDGsは、新型コロナに立ち向かうことができる『発熱パスポート』の研究開発でした。ワクチンや治療薬ができるまでは、コロナと共存していかなければなりません。私たちがいまできることは感染拡大を防ぐことです。感染リスクの高い人は自身も感染している可能性も考えて、人にうつさないために毎日の体温と症状を記録に残し、体調変化に合わせた行動をとることが重要です。当社が研究開発した『発熱パスポート』には、このような体調変化による行動のアドバイス機能もあります。当社の想いは世界のパンデミックを早く終息させることです。